

平成 27 年 12 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
問 合 せ 先 取 締 役 統 括 本 部 長 森 田 信 彦
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 「生活道路の安全対策」に関する勉強会の開催について ～実務者のための生活道路の安全対策のあり方～

我が国における交通事故による死者数は、ピーク時の 16,000 人（昭和 45 年）から 4 分の 1 の 4,113 人（平成 26 年）まで減少しています。特に自動車乗車中死者数の少なさは G 7（先進 7ヶ国）中トップです。一方、歩行中・自転車乗車中の死者数は最下位であり、全体交通事故死者数の半数を占め、その半数は身近な道路で発生しています*。このような背景をもとに、歩行者中心の暮らしの道（生活道路）の安全対策の必要性が高まっています。

そこで、当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）では、生活道路の安全対策への理解を深め、歩行空間をより安全・安心にするため、平成 27 年 12 月 7 日（月）に、久保田尚 埼玉大学大学院教授を講師にお招きし、実務者のための生活道路の安全対策のあり方に関する勉強会を開催致しました。

久保田教授は、国交省が主催する「生活道路における物理的デバイス等検討委員会」の委員長を務めておられます。

※出典：歩行者の命を守る緊急戦略 パンフレット（国土交通省道路局 平成 27 年 7 月）

【「生活道路の安全対策」勉強会の概要】

勉強会の前半は、久保田教授より、「実務者のための生活道路の安全対策のあり方」と題して、生活道路の安全対策の重要性が高まっている現状、実務者として計画・設計を行う際の技術的な配慮事項、生活道路対策を進めていく上でコンサルタントに期待される役割などについて、ご講演頂きました。

後半は、生活道路を歩行者中心の安全・安心なものとするために必要な技術とは何か、どのように生活道路対策に取り組んでいくべきか、全国各支店と TV 中継を結び、意見交換するとともに、久保田教授にご助言頂きました。

同社では、「生活道路の安全・安心」の実現に向け、先進的な取組を展開してまいります。

【久保田尚 埼玉大学大学院教授 勉強会風景】



久保田教授のご講演の様子



勉強会場全体の様子

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL: <http://www.oriconsul.com/>
統括本部 三百田、藪内、伊藤